新規 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 医療法人 杉村会 杉村病院

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		基本理念・基本方針について、院内に掲示し、ホームページに掲載、部署によっては朝礼前に唱和している。加えて毎年年頭に全体の年間目標を定め、院長による訓示やメール配信、職員が集まる場所へ掲示し明確に周知している。ビジョンや、経営目標等、管理職会議で共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		医療保険法、介護保険法及び労働基準法をはじめ関係法令遵守について、定期的に勉強会を開催している。また社会保険労務士に助言をもらい法改正などがあれば抵触しないよう、早急に対応している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		医療機関として公正な取引に努め、見積書や請求書等については所属長確認後、事務統括部長、院長確認後に、理事長が最終確認を行い、公正な取引に取組んでいる。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		各部署を代表する管理者で構成された、定期的に開催する管理職会議の中で、社会・環境に及ぼす影響などについて情報共有を行っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		2023年度にDX委員会を設置し、著作権の侵害などを行わないよう取り組み、関連する職員研修を行っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		リテラシー向上のため、新入職員に関してはオリエンテーション内で、中途採用者は「情報セキュリティ研修」を実施し、毎年10月全職員対象に実施しておりセキュリティ対策意識の向上を図っている。業務上必要となるUSBやパソコン毎に「外部媒体利用申請書」を提出し、所属長・院長の承認のもとシステム管理者が解除するように規定として定め、定期的に実施している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		相談窓口のほか、ご意見箱等で患者・家族から忌憚のない意見を広く傾聴し、患者満足度向上委員会に諮り、改善策を検討し、院内全体で共有するようなフローを整備し取り組んでいる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	消防計画や防火防災マニュアル、事業継続計画（BCP）を策定している。 法令に基づき、年2回の消防訓練も実施し、危機管理意識を高めている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	病院開設68年が経過、事業を継続していくために、後継者育成に長年取り組み、持続発展的な事業継続を見据え、2023年4月に後継者に事業継承を実現している。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		職場におけるハラスメントの防止に関する規程を周知し、相談及び苦情への対応窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		衛生管理者を3名配置し毎月衛生委員会を実施、院内感染対策、メンタルヘルス対策を含め、職員が安全・快適な環境で職務に当たれるよう合議、院内ラウンドを行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同じ労働を行っている正職員であるか、パートタイム労働者・有期雇用者であるかに関わらず、同一労働同一賃金当の原則に沿って不合理な待遇差が生じないようにしている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		業務が属人化しないようマニュアル化・DXを推進し業務効率化を図り、残業時間の徹底管理や有給休暇取得を推進している。又申請すれば兼業も許可し法人全体でワークライフバランスを向上させている。 よかボス宣言を行い、よかボス企業の登録を受けている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		新年度入職者に対して、1ヵ月程新人研修会を開催している。院内では外部講師を招いて実践に活用できるような研修をテーマに全職員を対象に開催している。また2024年10月1日よりe-ラーニング導入となり、集合研修と組み合わせる事により、職員全体のレベルアップを目指している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		法令に基づき年に1～2回の定期健康診断と産業医との面談を。ストレスチェックも毎年実施し、産業医の面談に関する情報を高ストレス者へ提供し、心身ともに健全な就業環境を整備している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		以前より外国人の看護師や理学療法士が働いており、今後も外国人の採用を継続していく。女性管理職は4割以上であり、熊本県男女共同参画推進事業者として表彰を受けている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	事務職などは感染症流行時や災害時でも在宅ワークの環境整備を行い、現場の職員についてはセミナーなどをオンラインで受講できる環境の構築・導入を行ってる。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	電子カルテやパソコン上での勤怠管理システム・購入申請システム・給与明細の電子化などを利用し、法人内の書類のデジタル化により、ペーパーレスや業務効率化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物、医療廃棄物のマニフェストの管理を行っている。 特別管理産業廃棄物管理責任者を設置し、特別管理産業廃棄物収集運搬業者・処分業者許可証の期限を確認し管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		エネルギー使用量をExcel表に月毎にまとめ把握している。新棟の増築に伴い照明をLED化に、既存棟に関しても改修の際にLED照明に変え、プリンターなども省電力機能の物に必要時に変えていくことでエネルギー使用量削減に取り組んでいる。また、昼休憩時や、使用していない会議室や面会室などの消灯に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてCO2排出量を把握している。事務職や専門職へクールビズ・ウォームビスを促し、院内の省エネに取り組むことで、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでおり、病院車も随時ハイブリット車など環境性能に優れた車種への切り替えを行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		感染性廃棄物は他の廃棄物と区別して収集・運搬・保管し、特別管理産業廃棄物収集運搬業者及び特別管理産業廃棄物処分業者へ委託している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		栄養部に生ごみを生分解し水になる業務用生ごみ処理機「シンクピア」を導入している。 機密文書は業者へ廃棄を依頼、溶解処分し解され、段ボール原料として資源循環型リサイクルに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		簡易専用水道、小規模受水槽について水質検査等衛生上の措置を行い、年1回以上の水槽の定期的清掃を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		菌により水となり排出される生ごみ処理機を導入している。 短時間で調理ができる調理機器を導入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	余った調理済み食材は可能な限りクックフリーズによりストックし、後日アレルギー対応や不足時などで再利用し、提供メニューの幅も広がり食材の廃棄削減に取組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	院内・施設内の照明をLED照明に変更し、エネルギー効率の見直しを図っている。エアコンの使用電力を減らすため、一部の室外機にデマンド装置を取付け、消費電力を計画的に抑え、エネルギー効率の見直しを行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	勤務場所が、サクラマチに近い事もあり電車やバス等の公共交通機関の利用を推進している。またEV 車充電スタンドを敷地内に設置し公用車も電気自動車へ変更しつつある。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		公益社団法人 日本医療機能評価機構の病院機能機能評価を受審している。医療機器安全管理者を決め医療安全管理委員会を毎月1回開き年に数回研修会を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		院内表示は、誰にでもわかりやすい文字やイラストで掲示している。 受付などに車いすを常設しバリアフリー化、トイレなどには手すりを設置している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		道路、水路などの清掃、除草など近隣地域における環境保全活動に取り組んでいる。 王栄幼稚園と連携し地域の子育て支援にも、積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		防火管理者を定め、消防計画を作成し所轄の消防署へ届け出ている。 消火訓練・避難訓練を年2回、避難訓練のうち1回は夜間・休日を想定して実施し、飲料水や食料、容器や箸などおよそ5日分を備蓄している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	看護部は、中央高校専攻科の実習生を受け入れている。リハビリテーション部では、年間約11校、約20名の実習を受入れ、指導者は厚生省の定める臨床実習指導者講習会へ参加し、適切な研修を受けた職員が指導している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	「ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度」に参加している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。